

## 46 ICU(集中治療室)における 中心静脈ライン関連血流感染発生率

### 指標の解説

- 中心静脈ライン関連血流感染 (CLABSI) を発症した患者は重症化しやすく、死亡リスクは最大25%に上る。CLABSIのリスクは医療機関、部署、患者の特性に左右されるが、エビデンスレベルが高い予防策を実施すれば、CLABSIの65%～70%は予防可能と推計される。
- 当該感染症はICU入室期間を延長するだけでなく、医療費増大の原因にもなる。
- 発生率の減少は、死亡率の低下及び医療費の抑制につながり、医療の質を問う指標となりえる。

分子: 日本環境感染学会JHAIS委員会のCLABSI判定基準に合致した症例数

分母: ICUにおいて中心静脈カテーテルを挿入した患者の延日数

